

平成29年度 教育行政事務執行点検評価結果一覧表

施策区分 (評価対象)	施策区分 (再掲区分)	課名	事務事業名	H28評価		H29評価		評価理由等
				成果	方向性	成果	方向性	
◆確かな学力を身に付けるための教育の充実		学校教育課	1 小学校LAN環境改善事業	/	/	A	終了	緑丘小の無線環境を改善し、iPadやタブレットPCを安定して活用できる環境を整備することで、各教室で教育用ICT機器の活用が促進され、わかりやすい授業づくりを行うことができる。
		学校教育課	2 中学校LAN環境改善事業	/	/	A	終了	港南中の無線環境を改善し、iPadやタブレットPCを安定して活用できる環境を整備することで、各教室で教育用ICT機器の活用が促進され、わかりやすい授業づくりを行うことができる。
		学校教育課	3 英語指導助手配置事業	A	改善	B	改善	平成32年度から導入される新学習指導要領において、小学校5・6年生における英語の教科化や、小学校3・4年生における外国語活動が実施されることを見据え、ALTの1名増員を図っていく。
	■豊かな心の育成 ■健やかな体の育成 ■信頼される学校づくりの推進 ■児童生徒の安全対策の充実 ■教育環境の維持向上	学校教育課	4 小学校教育振興事業	A	継続	B	継続	義務教育（小学校）における教育水準の維持、改善を図る上での教育用教材及び機器の整備充実を図る事業であり、各校において特色ある学校づくりができるよう適切な配分予算を設定し支援している。
	■豊かな心の育成 ■健やかな体の育成 ■信頼される学校づくりの推進 ■児童生徒の安全対策の充実 ■教育環境の維持向上	学校教育課	5 中学校教育振興事業	A	継続	B	継続	義務教育（中学校）における教育水準の維持、改善を図る上での教育用教材及び機器の整備充実を図る事業であり、各校において特色ある学校づくりができるよう適切な配分予算を設定し支援している。
	■教育環境の維持向上	学校教育課	6 特別支援教育推進事業	A	継続	B	継続	幼稚園、保育園、通園センター、学校が互いの授業見学を通して、特別な支援を要する児童生徒への共通理解を深めるとともに、高等養護学校や保健師などの関係機関と連携を進め、事業全体の充実に努めている。
	■信頼される学校づくりの推進	学校教育課	7 小中学校学習補助員配置事業	A	改善	B	継続	新1年生を中心に学習支援や学校生活の支援を実施しており、学校の要望や事業効果も高いことから、中学校2校に1名ずつ増員し、習熟度別学習などきめ細やかな支援を実施した。
	■信頼される学校づくりの推進 ■教育環境の維持向上	学校教育課	8 特別支援教育支援員配置事業	A	継続	B	継続	特別支援学級や通常学級に在籍する発達障がいをもつ児童生徒を中心に学習及び生活支援を実施しており、学校からの要望や事業効果も高いが、支援員を担う人材確保が課題であり、働きやすい雇用条件などを検討していく必要がある。
	■信頼される学校づくりの推進 ■教育環境の維持向上	学校教育課	9 教育用ICT器更新事業(小学校)	/	/	A	継続	老朽化している教育用PC並びに校務用PC、ネットワーク機器を更新し、セキュリティを強化するとともに、次期学習指導要領実施に向けて必要なICT環境整備を行った。
	■信頼される学校づくりの推進 ■教育環境の維持向上	学校教育課	10 教育用ICT器更新事業(中学校)	/	/	A	継続	老朽化している教育用PC並びに校務用PC、ネットワーク機器を更新し、セキュリティを強化するとともに、次期学習指導要領実施に向けて必要なICT環境整備を行った。

施策区分 (評価対象)	施策区分 (再掲区分)	課名	事務事業名	H28評価		H29評価		評価理由等	
				成果	方向性	成果	方向性		
◆豊かな心の育成	■信頼される学校づくりの推進 ■教育環境の維持向上	学校教育課	11	スクールソーシャルワーカー活用調査研究事業	A	継続	B	継続	児童生徒の諸問題は家庭環境に起因するものが多く、学校・家庭・関係機関の連携が重要であるため、スクールソーシャルワーカーの支援や働きかけによる効果が非常に高い。
	■確かな学力を身に付けるための教育の充実	学校教育課	12	中体連参加費補助金	B	改善	B	継続	中体連（管内・全道）の参加経費の一部を助成することで、中学校のクラブ活動を推進し、生徒の心身の成長を図っているが、保護者負担の軽減のため補助額や経費負担のあり方について検証していく必要がある。
◆健やかな体の育成		学校教育課	13	学校保健事業	A	継続	B	継続	法令で定められた学校健診などを適切に実施し、学校における子どもや教職員の健康、事故や災害に備えるための取り組みを行った。
	■確かな学力を身に付けるための教育の充実	学校教育課	14	子どもの食農教育推進事業	A	継続	B	終了	小学5年生を対象に農業体験学習を実施し、農業と食の大切さを学ぶ事業であり、市の基幹産業である農業への理解を深めるため、今後も関係団体と連携して取り組んでいく。（継続的な取り組みとして小学校教育振興事業に統合）
		学校教育課	15	日本スポーツ振興センター保護者負担金給付事業			A	継続	子どもや教職員が安心して学校生活を送れるよう、災害共済制度の保護者負担金分を給付し加入率100%を維持することで、事故の際すべての児童生徒が保証を受けられる体制を整備した。
◆安全・安心な教育環境の確保		学校教育課	16	小学校運営事業	A	継続	B	継続	各学校が目指す特色ある学校運営が行われるよう支援するとともに、学校に必要な事務備品や通信料等の事務的経費を確保し、学校運営を適切に行った。
		学校教育課	17	小学校管理事業	A	継続	B	継続	学校施設の適切な管理・補修等により安全安心な教育環境の整備を図った。
		学校教育課	18	中学校運営事業	A	継続	B	継続	各学校が目指す特色ある学校運営が行われるよう支援するとともに、学校に必要な事務備品や通信料等の事務的経費を確保し、学校運営を適切に行った。
		学校教育課	19	中学校管理事業	A	継続	B	継続	学校施設の適切な管理・補修等により安全安心な教育環境の整備を図った。
		学校教育課	20	教員住宅整備事業（小学校）	A	継続	B	継続	老朽化した潮静教職員住宅の屋根改修を実施した。今後も 改築を含め教職員住宅の集約化を図り、適切な維持管理に努めていく。
		学校教育課	21	旧学校施設解体事業			B	継続	老朽化し、暴風による屋根・壁の飛散の危険性が高い旧礼受小学校の解体工事を実施した。今後も計画的に解体を進めることで、地域の安全性の確保や管理上の負担を軽減していく。
		学校教育課	22	教員住宅解体事業	A	継続	B	継続	閉校に伴い老朽化していた教員住宅を解体し、地域の安全確保を図った。今後は改築を含めた集約化を図り、適切な維持管理に努めるとともに、老朽化した住宅の解体を進めていく。
		学校教育課	23	港北小学校屋内運動場改修事業			B	継続	築30年以上を経過した港北小学校屋内運動場について、屋根の腐食が著しいことから、老朽化対策及び安全安心な教育環境づくりの一環として、屋根葺き替え工事を実施した。
	学校教育課	24	潮静小学校整備事業	A	継続	A	終了	耐震基準を満たしていない潮静小屋内運動場について、耐震補強工事を行い、併せて校舎の屋上防水や暖房の改修を実施することで、安全安心な教育環境を整備するとともに、市内小中学校の全ての耐震化を完了した。	

施策区分 (評価対象)	施策区分 (再掲区分)	課名	事務事業名	H28評価		H29評価		評価理由等
				成果	方向性	成果	方向性	
◆児童生徒の安全対策の充実	■教育環境の維持向上	学校教育課	25 スクールバス運行事業	A	継続	B	継続	統合に伴う遠距離通学児童の安全確保のため重要な事業であるが、公共交通機関の利用者への補助制度や、小中学校の適正規模化の検討と併せてスクールバスの在り方を検証していく。
		学校教育課	26 スクールガードリーダー配置事業	A	継続	B	継続	児童生徒に対する登下校中の事件事故を未然に防ぐため、定期的な巡回指導を行っており、留萌市通学路安全推進協議会や通学路合同点検を実施することで安全確保の取組を進めていく。
	■教育環境の維持向上	学校教育課	27 冬期通学費補助金	B	継続	B	継続	遠距離通学時の安全確保のために重要な事業であるが、今後の小中学校の適正規模化を進める中で、スクールバスのあり方を含めて課題を検証していく。
	■教育環境の維持向上	学校教育課	28 遠距離通学費補助金	A	継続	B	継続	遠距離通学時の安全確保のために重要な事業であるが、今後の小中学校の適正規模化を進める中で、スクールバスのあり方を含めて課題を検証していく。
◆教育環境の維持向上		学校教育課	29 教育扶助事業（小学校）	B	改善	B	改善	経済的支援や特性に応じた学習環境支援のため就学援助費や特別支援就学奨励費を適切に扶助しており、対象者の実態を考慮して、入学準備金の入学前支給を実施する見直しを行った。
		学校教育課	30 教育扶助事業（中学校）	B	改善	B	改善	経済的支援や特性に応じた学習環境支援のため就学援助費や特別支援就学奨励費を適切に扶助しており、対象者の実態を考慮して、入学準備金の入学前支給を実施する見直しを行った。
◆その他の事務		学校教育課	31 嘱託職員配置事業	A	改善	A	改善	事務補助の配置を拡充したほか、児童厚生員、通園センター指導員、栄養士等の多種多様な業務を遂行するため、効率的かつ効果的に配置することができたと考え、今後も適正な配置が精査しながら進めていく。
		学校教育課	32 臨時職員配置事業	A	改善	B	改善	学校用務員や学校事務、児童厚生員等の多種多様な業務を遂行するため、効率的かつ効果的に配置することができたと考え、今後も適正な配置が精査しながら進めていく。
		学校教育課	33 北光中学校閉校事業実行委員会補助金			A	終了	実行委員会を設立し、児童、保護者、先生、地域住民、卒業生、来賓等とともに、式典、記念誌の発行、惜別の会、感謝状及び記念品の贈呈等を行った。
◆生涯教育の充実		生涯学習課	34 P T A 研究大会事業	A	継続	A	継続	PTA活動は、家庭教育の推進に重要な役割を担っており、子どもを取り巻く環境が大きく変化する中、家庭・学校・地域・行政が一体となって子どもの問題に取り組むことが大切であり、今後も連携しながら支援を継続していく。
		生涯学習課	35 社会教育統括事業	B	継続	B	継続	社会教育の充実・向上を図るため、関係団体との連携が重要。今後とも、学芸員や社会教育主事等のなどの専門知識を有する人材の確保に努めてまいりたい。

施策区分 (評価対象)	施策区分 (再掲区分)	課名	事務事業名	H28評価		H29評価		評価理由等	
				成果	方向性	成果	方向性		
◆生涯教育の充実		生涯学習課	36	審議会等事業	A	継続	B	継続	市民の代弁者である社会教育委員と協働で社会教育行政に取り組み、留萌市の社会教育の活性化に努める必要がある。平成29年度は、計画等の策定がなかったことにより、勉強会を行わなかったことから、今後更なる社会教育行政への取り組みが必要である。
		生涯学習課	37	成人式事業	B	継続	B	継続	人生の門出となる成人式は、対象者とその家族を含め、継続を望むニーズは高い。成人としての自覚や責任を再確認する場として継続が必要であり、アンケート結果においても好評を得ている。
		生涯学習課	38	公開番組誘致事業			A	終了	キャラクターによる劇やゲストパフォーマンスなどの番組収録を行い、市民参加型の周年事業を実施し、留萌市の節目の年を多くの市民とともに祝うことが出来た。
		生涯学習課	39	図書館統括事業	A	継続	A	継続	留萌管内図書館振興協議会総会及び研修会への参加等を通じ、指定管理者との連携を図り、サービス向上を図る。
		生涯学習課	40	図書館運営管理事業	A	継続	A	継続	指定管理を導入したことにより、市民サービスの向上が図られており、アンケート結果においても高評価を得ている。今後も市民ニーズに対応したサービスを提供できるよう指定管理者と協議し、連携を図る必要がある。
	■生涯スポーツの推進 ■芸術・文化活動の推進と歴史の伝承	生涯学習課	41	中央公民館等管理事業	A	継続	A	継続	指定管理者の管理は市民から高い評価を得ている。今後も指定管理者と連携し指定管理事業の見直しを行い、更なる利用促進を図る必要がある。施設については、留萌市社会教育施設維持管理計画に基づき、計画的な修繕等を行う中で、新たな施設の検討に向け研究を進める。
		生涯学習課	42	【ゼロ予算】自然観察会事業	A	継続	B	終了	北海道留萌振興局との共催事業。幅広い年齢層の参加があり、季節ごとに自然を観察し、会員相互の交流や健康づくりに繋がったが、一定の成果と目的を達成したため、事業は終了。
		生涯学習課	43	【ゼロ予算】生涯学習リーダーバンク事業	B	改善	B	改善	高齢化による登録者数の減少や新たな登録者の増加について努めるとともに、今後とも制度周知を図る必要がある。
■生涯スポーツの推進 ■芸術・文化活動の推進と歴史の伝承	生涯学習課	44	【ゼロ予算】留萌市合宿誘致検討委員会事業	A	継続	A	継続	留萌市で行われる音楽合宿やスポーツ合宿等の誘致促進にあたり、関係者相互の連携及び調整を行う会議の設置並びにその運営手続きについて必要な事項を定め、合宿等の誘致促進と円滑な受け入れを図ると共に今後のあり方についても協議していく必要がある。	
◆生涯スポーツの推進		生涯学習課	45	スポーツ振興基金積立金	A	継続	B	継続	平成28年度から一般会計より基金会計へ繰り入れ。事業周知を図り、広く寄附を募る取り組みに努める。
		生涯学習課	46	スポーツ振興助成事業	A	改善	B	改善	市民や団体等が自ら主体的に企画・運営・実施する事業や講演会・研修会等に対して助成。今後も市民のスポーツ振興を図るため、利用拡大に向け広く周知に努めていく必要がある。
	■健やかな体の育成	生涯学習課	47	子どもの体力アップ推進事業	A	改善	B	改善	平成29年度において、校長会に対しこれまでの実績等を踏まえ、今後のあり方について検証いただき、学友会の隔年度化や希望校のみの学校は検討の改善を行った。

施策区分 (評価対象)	施策区分 (再掲区分)	課名	事務事業名	H28評価		H29評価		評価理由等		
				成果	方向性	成果	方向性			
◆生涯スポーツの推進		生涯学習課	48	スポーツ合宿誘致事業	/	/	B	継続	交流試合や教室の実施などにより、留萌管内競技者の技術や指導技術の向上に有効な手段と考える。スポーツ団体等が行う合宿の誘致の拡大に向け、支援の在り方を始めとした対応策の検討を行う。	
		生涯学習課	49	クロスカントリーコース整備事業	B	改善	B	改善	冬季スポーツの一つとしてクロスカントリースキーは効果的と考えている。利用者は、自衛隊や愛好者の利用が増えたが、さらなる利用者増加策についての方策や整備方法について関係団体等との協議が必要である。	
		生涯学習課	50	温水プール管理事業	A	継続	B	継続	H29年度から市民1000人アンケートや水泳教室などを実施し、持続可能な運営方法等について、今後も検討を進める。	
		生涯学習課	51	【ゼロ予算】学校開放事業	B	継続	B	継続	学校校舎の有効利用を図り、市民の健康増進と体力向上に繋げる。	
◆芸術・文化活動の推進と歴史の伝承		生涯学習課	52	芸術文化振興助成事業	A	改善	B	継続	市民や団体等が自ら主体的に企画・運営・実施する事業や講演会・研修会等に対して助成。今後も市民の芸術文化の振興を図るため、継続する。今後とも広く周知に努めていく。	
		生涯学習課	53	子どもたちの伝統文化体験事業	A	継続	A	継続	子どもたちの健全な育成のため、伝統文化や舞台芸術に直接触れる機会は貴重な経験であり、今後も事業を継続し、子どもたちの豊かな心や感性、想像力が育まれる機会を提供していく。	
		生涯学習課	54	芸術文化振興基金積立金	B	継続	B	継続	基金の運用益がほとんどない一方で、助成金等による基金会計からの繰入は毎年度増加していることから、所管においても留萌市応援寄附制度のPRが必要である。	
		生涯学習課	55	音楽合宿誘致事業	/	/	A	継続	一般社団法人留萌青年会議所が実施する、音楽合宿を実施する団体へ支援を行うことにより、交流人口の増加及び経済の活性化が期待されることから、関係団体と協議し持続可能な体制を構築したい。	
		生涯学習課	56	留萌百年物語事業	A	改善	A	継続	留萌に文化を根付かせた『夢沼ナラ』を通して留萌の郷土の歴史を学ぶことができ、その成果は大きいものがあると考えている。今後も子ども達へ留萌の先人・偉人を紹介する事業に取り組む。	
		生涯学習課	57	PMF 招致事業	/	/	A	終了	PMFによる留萌高等学校吹奏楽部へのアウトリーチや「留萌ゆめ・みらいコンサート」を開催することで、質の高い指導及び音楽を提供し、多くの市民とともに周年事業を開催することが出来た。	
		生涯学習課	58	旧佐賀家漁場管理事業	B	改善	B	改善	管理方法や消防設備等、改善を要する課題があるが、現行予算の効率的な運用により現状を保つための管理を継続しながら、今後とも施設の利活用を研究する。	
		■生涯教育の充実	生涯学習課	59	【ゼロ予算】 るもい文化遺産の再発見事業	B	改善	B	改善	学芸員によるプログラム構成となっているため、今後に向けたプログラムの構築が課題である。
		■生涯教育の充実	生涯学習課	60	【ゼロ予算】 海のふるさと館出前解説事業	B	継続	B	継続	海のふるさと館に訪れている学生等も多くニーズは高い。団体等からは解説について好評を得ており、繰り返し来館される団体も増えている。

施策区分 (評価対象)	施策区分 (再掲区分)	課名	事務事業名		H28評価		H29評価		評価理由等
					成果	方向性	成果	方向性	
◆安全・ 安心な教育環境の 確保	■生涯ス ポーツの推 進	生涯学習課	61	中央公民館等整備事業	/	/	B	継続	施設については、留萌市社会教育施設維持管理計画に基づき、計画的な修繕等を行う中で、新たな施設の検討に向け研究を進める。
		生涯学習課	62	図書館整備事業	/	/	B	継続	施設については、留萌市社会教育施設維持管理計画に基づき、計画的な修繕等を行う中で、新たな施設の検討に向け研究を進める。
		生涯学習課	63	スポーツセンター等整備事業	/	/	B	継続	施設については、留萌市社会教育施設維持管理計画に基づき、計画的な修繕等を行う中で、新たな施設の検討に向け研究を進める。
◆子ども・子育て		子育て支援課	64	助産施設扶助費	A	継続	A	継続	法制度で定められた内容に基き、対象者の入院・助産に対し、給付を行うものだが、平成29年度は、対象者がいなかった。
		子育て支援課	65	児童手当扶助費	A	継続	A	継続	制度に基づき適切に受給者管理及び手当支給を行い、児童養育世帯の生活の安定及び児童の健やかな成長を支援した。
		子育て支援課	66	児童手当支給事業	A	継続	A	継続	制度に基づき適切に受給者管理及び手当支給を行い、児童養育世帯の生活の安定及び児童の健やかな成長を支援した。
		子育て支援課	67	子ども・子育て支援統括事業	A	継続	A	継続	留萌市子ども・子育て会議を開催し、「留萌市子ども・子育て支援事業計画」の進捗管理並びに計画に基づく子育て施策を推進した。
		子育て支援課	68	未熟児養育医療給付事業	A	継続	A	継続	法制度で定められた内容に基き、治療を必要とする未熟児に対し、適正な給付を行った。
		子育て支援課	69	子育て支援事業	A	継続	A	継続	男性の積極的育児参加を促す講習会の開催や母子保健担当部署、児童センターなどとの協力・連携により、子育て施策を推進した。
		子育て支援課	70	ファミリーサポートセンター事業	A	継続	A	継続	まちなかに拠点を移して以降、利便性が向上し、利用者が増加しており、保護者の子育ての不安や負担感の軽減や仕事と子育ての両立の支援が図られた。
		子育て支援課	71	家庭児童相談室運営事業	A	継続	A	継続	子育て支援課内に設置している家庭児童相談室に専任の家庭相談員1名を配置し、旭川児童相談所などの関係機関や団体と連携・協力しながら、様々な相談や児童虐待等の問題に対し、適切な対応が図られた。
		子育て支援課	72	幼児言語治療教室運営事業	A	継続	A	継続	言語治療を必要とする幼児・児童に対し、切れ目のない支援を実施し、言語障がい教育の充実が図られた。
		子育て支援課	73	母親クラブ活動費補助金	A	継続	A	継続	児童センター単位で組織されている母親クラブに対し、活動費を補助することにより、児童センターとの協力・連携による各種事業を展開し、児童の健全育成が図られた。
	子育て支援課	74	乳児家庭全戸訪問・養育支援訪問事業	A	継続	A	継続	保健師との協力・連携により、子育て世帯の養育環境を把握し、子育て情報の提供や子育て相談を実施するなど、子育ての不安や孤立感を軽減するため、必要な養育支援を実施した。	

施策区分 (評価対象)	施策区分 (再掲区分)	課名	事務事業名	H28評価		H29評価		評価理由等	
				成果	方向性	成果	方向性		
◆子ども・子育て		子育て支援課	75	留守家庭事業	A	継続	A	継続	放課後、留守になる学童に対し、適切な生活の場を提供し、児童の健全育成及び仕事と子育て支援の充実が図られた。
		子育て支援課	76	障害児養育支援事業	A	継続	A	継続	児童センターに障がい児養育支援のための必要な指導員を配置することにより、円滑な受け入れ体制の確保が図られた。
		子育て支援課	77	児童館運営管理事業	A	継続	A	継続	地域の子どもたちの活動拠点として、安心・安全な遊びの場を提供し、適切な遊びを通じて児童の健全育成が図られた。
◆幼児教育・保育		子育て支援課	78	留萌萌幼会助成事業	A	継続	A	継続	保育所の隣接地に園庭用の土地を確保することによって、保育園を利用する児童の安全性及び福祉向上が図られた。
		子育て支援課	79	保育士配置等補助金	A	継続	A	継続	障がい児や発達遅滞児への対応、国の基準を上回る保育士配置など、多様化する保育ニーズに対応するために必要な支援を行うことによって、質の高い保育や保育所の安定的な運営が図られた。
		子育て支援課	80	児童福祉施設(保育所)管理事業	A	継続	A	継続	法制度で定められた内容に基づき、保育所利用に関する審査及び管理を適正かつ公平に行った。
		子育て支援課	81	児童福祉施設(保育所)運営事業	A	継続	A	継続	法制度等で定められた基準に基づき、保育所運営に係る経費を適正に給付した。
		子育て支援課	82	私立幼稚園就園奨励費補助金	A	継続	A	終了	国の基準に準拠して本事業を実施することにより、幼稚園利用児童の保護者の経済的負担が軽減され、より多くの子どもたちが充実した幼児教育を受けられる環境整備が図られた(平成30年度から子ども子育て支援新制度へ移行したため終了)。
		子育て支援課	83	多子世帯保育所保育料軽減事業	A	継続	A	継続	多子世帯に対する保育所保育料を軽減することによって、子育てに関する経済的負担の軽減を図るとともに、女性の社会進出に伴う子育てと仕事との両立が図られた。
		子育て支援課	84	青少年統括事業	A	継続	A	継続	青少年問題協議会において、青少年に関する事業、様々な問題に関して調査審議することにより、青少年健全育成への取組が推進された。
◆青少年		子育て支援課	85	青少年健全育成事業	A	継続	A	継続	これまでの委託事業に加え、留萌市青少年健全育成推進員協議会創立50周年の記念事業を展開するなど、協働を基本として、地域ぐるみで子どもたちを守り育てる環境づくりが図られた。
		子育て支援課	86	優良青少年表彰事業	A	継続	A	継続	市内において模範となる行為を行った青少年を各種団体から幅広く推薦者を募り、表彰することによって、青少年育成活動の普及と認識を高めることができた。
		子育て支援課	87	非行防止事業	A	継続	A	継続	青少年育成センターが中心となって、青少年に関わる関係機関や地域における関係団体と連携し、祭典時の巡視など青少年の非行防止活動を行うことによって、青少年の健全育成が図られた。

施策区分 (評価対象)	施策区分 (再掲区分)	課名	事務事業名	H28評価		H29評価		評価理由等	
				成果	方向性	成果	方向性		
◆ひとり親家庭等		子育て支援課	88	母子・父子・寡婦自立支援統括事業	A	継続	B	継続	支援員1名を配置し、相談や情報提供のほか、道や母子家庭等就業・自立支援センターなどと連携協力し、自立支援に向けたセミナーを共催したが、参加者が少なく中止となった。
		子育て支援課	89	児童扶養手当扶助費	A	継続	A	継続	制度に基づき適切に受給者管理及び手当支給を行い、ひとり親家庭の生活の安定と自立促進及び児童福祉の増進が図られた。
		子育て支援課	90	児童扶養手当支給事業	A	継続	A	継続	制度に基づき適切に受給者管理及び手当支給を行い、ひとり親家庭の生活の安定と自立促進及び児童福祉の増進が図られた。
◆幼児療育通園センター		通園センター	91	通園センター運営管理事業	A	継続	A	継続	入園者数増の中、待機児童数0を維持すると共に、療育内容・方法の向上、相談支援の充実に努めてきた。多様化するニーズに対応するため療育体制の整備を図った。
		通園センター	92	留萌南部地域幼児療育推進協議会運営費補助金	B	継続	B	継続	3市町の療育関係機関等の貴重な情報交換、連絡調整、研修の場となっている。協議会の運営体制の改善、事業充実に次年度の課題として取り組む。
		通園センター	93	通園センター改築事業			A	継続	療育が必要な子どもたちに、安全・安心な療育環境を提供するため、旧沖見小学校を解体し、移転改築する。29年度、実施設計委託、解体工事等は予定通り実施し、終了した。次年度は建設に入り、11月に供用開始の予定である。
◆健やかな体の育成		給食センター	94	地元食材100%給食事業	A	終了	A	継続	地場産物や郷土食の導入等により、望ましい食習慣の形成や児童生徒相互間の良好な人間関係の構築を推進するため今後も継続していく。
◆安全・安心な教育環境の確保		給食センター	95	学校給食統括事業	A	継続	A	継続	定期的な給食指導の実施や地元食材の使用率向上など食育への取り組みの充実に図りながら、安全・安心でおいしい学校給食の安定的な供給を行った。
		給食センター	96	給食センター運営管理事業	A	継続	A	継続	定期的な給食指導の実施や地元食材の使用率向上など食育への取り組みの充実に図りながら、安全・安心でおいしい学校給食の安定的な供給を行った。
		給食センター	97	給食センター調理衛生環境等改善事業	A	継続	A	継続	平成26年11月に策定した計画に基づき、事業を着実に進める。
	■健やかな体の育成	給食センター	98	【ゼロ予算】給食センター見学及び給食試食事業	B	改善	A	継続	参加者数が前年度比増となった。学校給食への理解を広める事業であり、事業を継続する。